



Meeting

08/17 2025 **Rev 1.2**

©2025 Mah, WingMakers, and other excerpt...

本資料を許可なく公開、転載、配布、複写、編集することを禁じます。

Announce

<会場について>

水分補給OKです。

空調について要望があれば 適宜おっしゃて下さい。

<配信について>

録画開始

Teamsの配信は録画します。 スタディグループメンバーの 希望者へ有料配信します。

視聴有効期間は約1ヶ月です。

<休憩について>

適宜休憩をとります。 ご希望があれば、言ってください。



クォンタムポーズ



Quantum Pause

 4×4

Music: Vima Lamura - Awakening

呼吸と非時間/非空間

~人間のまま、時間と空間の意識の外へ~

WingMakers Vol.2

あなたがたは、グランド・ユニバース内のあらゆる生命形態の経験を吸収す ることで獲得される、ファースト・ソースに集積された知識の一部である。 このあらゆるものを包含する知識は、すべての生命体に喜んで差し出され、 分かち合われるが、自らの神性を表現するために時間の制限の外に踏み出す 能力を獲得したソウルキャリアーにしか理解することができない。あなたは、 想像を絶するほど複雑でありながら、ただひとつのマインドを持ち、進化す る生命形態の変容に貢献する「宇宙的有機体」の一部である。このためソウ ルキャリアーは、ファースト・ソースと共にワンネスの中に住む全宇宙的構 造体との繋がりを理解し、感謝することができるのだ。これが多次元宇宙の 他のすべてのシステムを支配する基本的なシステムであり、この崇高な理由 のために生命は存在するのである。

EventTemples – SilentTemple 1

さて、更に奥へと進みましょう。

ハートの「賢者の微笑み」と私が呼ぶものの中に。

それは醒めて、直感という光速の知性が閃き、過去に障壁だった普通の人間の経験を見ています。

この知性はヒューマン・インストゥルメントの膜であり、ハイヤーセルフへと触れることができます。

そして、この知性は時空とスピリットの世界の両方に生きており、私たち人間の制限された状態を良く知っています。

それ故に、それは私たちの同情と寛容のソースでもあるのです。

私たちは許します。

人間が制限されていることを知っているから。

EventTemples – SilentTemple 1

その制限の中で、愚かで欠陥が満ちた判断をすることを知っているから。

人間には制限があります。

その上で愚かな選択をするならば、まったく同じ理由で愚かな判断をします。

それ故に、私たちは判断することはできないのです。

そして許すのです。

寛容のエネルギーが、この高次の状態-直感の膜-から私たちの生命へと流れます。

そして、人間の制限を理解し、感謝するとき、このエネルギーの流れは鮮明に感じることができます。

少しの間、このことに想いを巡らせてください・・・

EventTemples

もしあなたにコヒーレンスがあり、スピリチュアルなマインドの思考だけを抱いていれば、完璧な健康体となり、富と贅沢な暮らしを手に入れ、他の人々との調和の中で生きることができるという意味でしょうか?成功のしるしとして、外面的な結果とスピリチュアルな生き方の効果を同一視することが、人間の本性が犯している誤りなのです。

人生の物質的な側面は、私たちの真の姿を表してはいません。私たちは、遊び、愛し、導き、コミュニケイトし、共同創造し、学ぶため、時空の中で融合し、絶えず姿を変える振動フィールドです。私たちの物質面が成功しようが、失敗しようが、それがどんなものであれ、それはある時代の社会規範が生み出した知覚的な人工物です。

生命の輝きの中で開花する重要なものは、私たちの振動フィールドです。それが私たちがもつ魔法の力であり、常にすべての先にあるものです。確実に、原因と結果という過去と未来のプロセスよりも重要なものです。私たちの振動フィールドは、私たちのローカルユニバースへと拡散するスピリチュアル・センターのエッセンスとして理解することができますが、それは局所的な空間や時間に制限されません。私たちは、物理的・感情的・精神的・霊的な性質を通じて振動フィールドを放射しています。

EventTemples – the Rising Heart

リリカスの教師たちは、人間という装置ヒューマン・インストゥルメントと ソウルとの間のデリケートな関係や、その統合の活性化に強い関心を持って います。例えば、感情的に混乱し、誤った情報に溢れ、精神が静止し、見せ かけの電磁フィールドの三次元と四次元の中で、どのようにしてその統合を 活性化させるかなどに関心を持っています。三次元と四次元の二元性を種族 が超越し、神の拡大と統合のプランに関する直接的な知覚を得たとき、宇宙 の景観はクリアになります。この高次元の知識を得るために必要なテキスト は存在しません。人類が今、その進化のステージで必要としているものは、 時間と空間の世界の中でソウルとして生きるための知識です。これこそが 『リミナル・コスモロジー』が提供される意図なのです。

. . .

種族が五次元の平穏を達成するまで、すべての惑星で行われていることなのだ。 五次元の平穏が達成されたとき、セントラルサンからのコミュニケーションが 直接的にリアルタイムで行われるようになる。

Living from the Heart

時空はハートの美徳に作用したりコントロールしたりするフォースではないからです。繊細な領域から粗野な領域まで、どのような領域においてもハートの美徳を存分に発揮させ、力を与えるのはデザイニング・フォースの中に包まれているソウルと高次スピリットです。定期的にハートの美徳を表現し、そのエネルギーを観察し、そのアウトプットを熟考し、その表現を育むならば、ハートの美徳が消され無視される密度はありません。最も暗い密度の中でさえ、ハートは私たちすべての中にある神の性質へと繋がっている鼓動を正確に刻むのです。

やがて、ハートの美徳を表現することによってそのエネルギーの目詰まりが溶解し、物質と時空の低次元の中であなたのハイヤーセルフを固定し維持することが容易になるのが分かるでしょう。それを行う中で、より深い人生の調和とリズムが容易に現れ、私たちすべてがこの時代に演ずるためにやって来た仕事をサポートするでしょう。

Living from the Heart

時空はハートの美徳に作用したりコントロールしたりするフォースではないからです。繊細な領域から粗野な領域まで、どのような領域においてもハート

の美れて
エネ 「理解とは、感覚のことです。それはマインドのものではないのです。それはあなたの
人生の中で、非常に意味ある愛の気づきです。そして愛とは、他のものよりも重要なも
のなのです。この感覚をあなたの呼吸に取り入れなさい。徹底的な注意と努力によって
荒野に燃え上がった未来ある炎のように、ハートを活性化させるのです。」
むの
オラクルより。
が溶
解し
とが

とリズムが容易に現れ、私たちすべてがこの時代に演ずるためにやって来た仕事をサポートするでしょう。

- ・執着について。家族、記号、数字(お金など)
- 執着はリアルではなく「イマココ」の穏やかさ
- ・「イマココ」から「6つのハートの美徳」を表現
- 「幸せでなかった」「幸せであった」・・・何が幸せなのか?
- 「時間と空間を意識から外す」とは、どういうこと?
- ピダハンという部族
- ゾミアという生き方



- ・大自然の意識には「イマココ」しかない。
- 自然と「同化」することで、その意識を共有してもらうことができる。
- ・裸足で草地を歩き、雑草の上に寝転がり、木漏れ日に照らされる空を見上げる。蟻が這い周り、鳥が羽ばたき、蝉が鳴き、トンボや蝶が飛び回る。
- 「ナウネスの結合体」
- ・呼吸する生命は、「今この瞬間」にしか生きていない。 呼吸は「今この瞬間」にしか、存在していない。 過去や未来の想像の中に、実際の呼吸はない。
- ・「呼吸が、全て」「呼吸とは、生命のメタファー」 (クォンタムポーズ、鼻で吸い、口で吐く呼吸など)

家の空気と外の空気が 違う。 外にでたら勝手に 深呼吸している。

家の換気も良いかも。



- ・現代の人間の「仕事」や「社会活動」の大半は、時空操作活動
- ・時空の中では「思ったようにいかない」ことが多々ある。 「失敗」や「執着」など・・。(執着は時空ベース)
- 非時空の世界では、すべてがあるがまま。「思ったようにいく、いかない。という概念がない世界」
- 「夢」の世界のように、直線的な時間の流れもあれど、そこが「西暦何年 の何月何日」だと分からなくても、成立している世界
- ・動植物の意識には「現在何年何月何日で、次の予定は・・」がない。
- 時間を超え、空間を超え、縛られない意識状態



- 「自由への鍵」「BST」「タイムトラベルテクノロジー」
- 幼い頃の感性を取り戻す。「自然とのつながり」の。 幼少期は、ベールが比較的、不透明。
- 自然との一体感、一体化
- 種が、時空ベースから非時空ベースへ移行する時、そこが、グランドポータルになる。
- アインシュタイン 速度で時間の流れが変わる
- ハートはマルチレベルを持っている。時空ベースと、非時空ベース

時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間 非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時 間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空 間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非 空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間 時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間 非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時 間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空 間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非 空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間 時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間 非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時 間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空 間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非 空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間時間非時間空間非空間

- ・「時空レス」 人間の世界では、時空間の操作、過去未来現在が大変大事になる。 大自然の世界では、そこと一体化が大事になる。
- 自然は誇らしげに、サヴァリンインテグラルを着ている。

地球/自然 + 個人の準備 = サヴァリン・インテグラルの実現

・「時空操作トラップ」に注意。 異星人の…。

・時空の世界の要求事項と、非時空の世界の要求事項の違いについて 考えてみましょう。

時空の世界(MESTの宇宙)	非時空の世界

Living from the Heart

直ぐに得られる喜びへの欲求ウイリアム·ギブソンのこんな言葉があります。「未来は既に起こっている。ただ、まだ十分に展開されていないだけなのだ」

この気持ちは、近道があらゆる活動のフィールドの専門家から賞賛される世界ではしかるべきものに思えます。加速は時代の合言葉であり、その目的は短い時間でなんでも素早く行うことです。

もっと生産的にもっといい従業員にもっといい生徒に。すべてをより良くするため、早さと容易さが求 められています。このアプローチから失われているものは目的地です。別の言い方をすれば、「その加 速があなたをどこへ連れていきますか?」という問いです。もっとお洒落な車、もっと大きな家、悟り、 無尽蔵の銀行残高、人生におけるもっと高名な地位、もっと健康に。シンプルに言えば、相対的に容易な ライフスタイルが、あなたをどこへ連れていくのでしょうか。目的地がどこであれ、すぐに得られる喜び という概念は、その達成のための触媒としてぼんやりとそびえ立っています。しかし、目的地が感情の セルフ・マスタリーならどうでしょうか?この場合、加速のバロメーターは何でしょうか?近道とは何で おり、加速しているのか、減速しているのか、足踏みしているのか、進展していないのかをどうやって知 るのでしょうか?すぐに得られる喜びとは、あることを基本前提としています。それは、すべての人間の 活動にはエレベーターと階段があり、エレベーターを選ぶ方が良いということです。目的地に達するこ と、ゴールに早く着くことが、どの目的地やゴールが最良なのかを見極めることよりも重要なのです。 多くの場合、人に計算を誤らせ、どの目的地やゴールが目的を実現するのに最も肝心なものであるのか を査定することから回り道を取らせるのは、まさしくこのゴール到着への加速の心理的要求です。

Let's Speak



自己紹介近況等



天の川銀河

周辺宇宙の拡張領域

SU2

SU5

セジトラル・ユニバー気

ファースト・ソースの住居

SUI

SU7

SU6

リミナル宇宙論 (抜粋)

204

文字通り セス 0 ラル 到達点である。 セ ラル ス は 人間型種族の祖先である。 1 スは 々が時間と空間という概念にお 事実上、 彼らは我 いて、進化してゆくプ々自身の未来の姿だ。 してゆくプ

ラ 物質 的な宇宙を統治するためには、 加えるならその銀河とは、 て囲まれ スの物理的な住居であ ラル るーパ 最も近くに横たわる銀河からでさえ、 いる者はほ ス」を取り巻く黒い点で表されて ラ セントラル ユニバ 創造主が物理的に存在し、 とんどい 永遠で スはファ ある。 イスの居住地で トラル トラル 基本的には見ることは る。) 物質宇宙で ある。 ユニ (銀河 物質 的 ス ス は は 义

ラル は反物質 スは不動であり永遠である。 という非物理的な要素から構成され、 るの スの周りを反時計周りに回転 外宇宙、 あるい 七つのスー は周辺宇宙である。 している。 七つのス ユニバ つ 0 ス

SU: スーパーユニバース 天パバ 文学 그 者 を スが拡大するための拡張スペ 6) に回転 いる既知の宇宙のそ 7 11 る。 この広大な 0 大半 スなの 外宇 だ。 A 0

ユニバ

のわずかな断片と、

最も外側の周辺宇宙

住

のむ

A

0

宇宙の る た物理的身体を形成するためにセ 人類種 A と空 はそ 拡大と並行 の基本のテ 映る 創世の 彼ら なる認識 て銀河に種をま 0 目的とセ を開発 0 A 自身の Z す ぎ 0 未来 あるの プ ラ と共に、 適合 の関 그 彼ら イス

+ ネ ル ダ博



今後の予定

要望があった場合、

開催日程調整します。



本日の資料は、後々一般公開予定です。

